

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

Rotary



第2780地区
大磯ロータリークラブ

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度RI会長
ホルガー・クナーク

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 新宅 文雄 会長エレクト 守屋 紀忠 幹事 大藤 勉

第2505回 例会

令和2年11月5日 No.11

■司会：布川 史明

■点鐘：新宅 文雄

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・11月12日：休会 ・11月19日：ガバナー公式訪問 ・11月26日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	マークアップ	修正出席率
2505回	16(13)	10	76.92%	—	—
2503回	16(13)	10	76.92%	—	—

◇欠席者（3名）

原、太田、百瀬さん

◇マークアップ（0名）

◇会長報告

新宅文雄会長

君が代・奉仕の理想



◇ゲスト：吉野龍彦ガバナー補佐

◇出席報告

鈴木美乃委員



1. アメリカの大統領選挙の最新情報では、バイデン候補は264人まで選挙人を積み上げ、トランプ大統領は214人、バイデン候補が激戦州のどれかを獲得すれば過半数の270人に達する状況です。
2. 11月3日「明治記念大磯邸園」の旧大隈重信別邸と陸奥宗光別邸の庭園が公開されました。2024年度までに別邸内部なども全面公開される予定だそうです。私も改めて整備された庭園を見学してまいりま

した。舗装された歩道を歩いていくと、石畳や砂利道となり庭を一周出来るようになっていました。結構広かったですね。面白いことに、大隈重信侯は奥様の綾子さんに頭が上がらなかったそうで、奥様のことをうちの「番頭」と呼んでいたそうです。明治時代は、男尊女卑の思想が激しかったこと、大仕事をやり遂げた人でもあり、しかも九州男児であったことを考えると、女. 子供. の出る幕ではないと、女房の意見を無視したり、2号3号を持つのは男の甲斐性だといった事が、当時の常識だったのかなと思っておりましたから、驚きました。奥様を大事にされ、だから成功された訳ですね。

3. 本日は国際ロータリー第2780地区 第8グループ吉野龍彦ガバナー補佐がお見えになりました。ガバナー公式訪問の2週間前にクラブ訪問する規則のため。

吉野ガバナー補佐には後程、地区や第8Gの現況、クラブとガバナーとの事前調整、自己紹介等のお話をして頂きます。公式訪問がより有意義なものになる様に、ガバナーと「ほうれんそう」をする為であります。

4. 10月は米山月間、11月は財団月間は皆様ご承知のことと存じます。ご協力の程、よろしくお願い致します。

5. 次回の例会は公式訪問です。次回は11時40分までにお集まり下さいます様お願い致します。懇談会の質問者は瀬戸さんです。

6. 例会後、理事会がありますので理事の方はS. ダイニングに集合願います。会長報告は以上であります。

◇幹事報告

大藤勉幹事



1. コロナ禍に対するアンケートお礼と結果報告
2. 11月のロータリーレート：104円
3. 再来週のガバナー公式訪問日は11時45分までに

来場下さい。終了は2時30分の予定でしたが吉野ガバナー補佐のお計らいで30分で切り上げられると言うことで2時過ぎという事になりました。

4. R財団と米山寄付がまだの方は是非ご協力を宜しくお願いします。

吉野さんには去年のウガンダ補助金のことでは大変お世話になりました。吉野さんがいなければ補助金は出なかったかも知れない。有り難うございました。また今年はガバナー補佐になられお世話になります。宜しくお願いいたします。

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

瀬戸亨一委員



- ・第8グループ吉野龍彦ガバナー補佐：どうぞ本日は宜しくお願い致します。
- ・新宅文雄会長：吉野AGようこそいらっしゃいました。ご指導の程宜しくお願いします。
- ・河本親秀さん：吉野ガバナー補佐ようこそ。ご指導宜しくお願い致します。
- ・守屋紀忠さん：吉野ガバナー補佐本日は宜しくお願いします。
- ・石山智司さん：吉野ガバナー補佐今日はようこそいらっしゃいました。ご指導宜しくお願いします。
- ・田中敏治さん：ガバナー補佐吉野さんようこそお出で下さいました。今日の卓話宜しくお願い致します。
- ・瀬戸亨一さん：吉野ガバナー補佐様ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願い致します。
- ・布川史明さん：吉野ガバナー補佐ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。宜しくお願いいたします。
- ・鈴木美乃さん：吉野様ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしております。

◇ 卓 話

◆◆◆ガバナー補佐公式訪問◆◆◆

第8グループ吉野龍彦ガバナー補佐



配付資料：

1. 2020-21年度第2780地区方針及び目標(久保田英男ガバナー設定)
2. ガバナー公式訪問に備えて
 - (1) AG自己紹介
 - (2) RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」
3. 久保田ガバナーのテーマ：TOGETHER~もっと自由に」、ガバナーの略歴
4. 地区目標：
 - (1) RI会長テーマ及びビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進
 - (2) RIロータリー賞への積極的なチャレンジ
 - (3) 会員増強・会員維持・クラブ拡大
 - (4) 青少年育成の推進
 - (5) クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進 (6奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付
 - (7) 米山奨学会寄付
 - (8) ポリオ根絶の推進
 - (9) [1クラブ1プロジェクト]の継続と奉仕プロジェクト支援

第8グループガバナー補佐の吉野龍彦です。平塚湘南ロータリークラブ所属です。沢山のスマイルと美味しい昼食有り難うございました。12月19日に久保田ガバナーの公式訪問があります。これは第8グループの最後の公式訪問になります。その準備のために訪問いたしました。

ガバナーは出来るだけ卓話と懇談会の方に時間を使い皆さんの声を聞きたい、それを地区に反映した

いという意向を持っておられます。

地区では9つの地区目標を立てております。このことを事前に説明させて頂いて、これらについて、もし質問があれば事前に私の方から説明しておきたいと思っております。10月28日に地区大会が開催されました。会長、幹事、会長エレクトのみの出席にして頂いて行いました。今までは2日間で行われ、第1日は会長・幹事会、二日目は会員が集まって行われました。今回は二日目のみの限定されたと人数で2時間10分で終わらせました。ネット環境の関係でライブ配信は出来なかったがDVDを撮っているので、今年中には作成して皆様にも見て頂く予定です。

今まで6つの重点分野→7つの重点分野へ

- ・平和と紛争予防・紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

+環境保全というのが7つめに加わりました。

豪雨被害への寄付金：1,977,931円集まり被災地2700地区(福岡、長崎、佐賀)と2720地区(熊本、大分)に半分ずつ送りました。

以下配付資料に基づいて説明あり。配付資料に付加説明のみ掲載します：

(3)会員増強・会員維持・クラブ拡大

前年度コロナ禍の影響で我が地区では約100人減少。日本全国9万人の会員が3千人減ったと推測されています。世界120万人の会員は117万人に減ったと言われている。我が地区では9月末66クラブで2,300人(入会49人、退会20人純増29人)となっています。地区目標は2021年7月1日時点で2,500人となっているが各クラブの目標は入れていません。量と質の問題があると思います。やはり奉仕や貢献が出来る方と一緒にやって行くのが理想と思います。

(4) 青少年育成の推進：

今年はコロナ禍のため青少年交換は出来ません。本年度交換学生に選ばれた9名の高校生の権利は次年度に持ち越す事にしましたが1名だけは辞退されました。

(5)クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

貴クラブでは5年ご会員を25名に、ハイブリッド例会も取り入れるというビジョンを掲げておられます。

我がクラブは月4回の例会のうち2回をウェブ・ズーム例会、2回を集まる例会にしていますがズーム例会は出席が非常に悪いです。ウェブ・ズーム会議は例会よりも委員会とか5~6人の集まりに適しているのかなの個人的には思います。うちの例会は7~8割は出席しますがズーム例会は半分行くかどうかです。他のグループでもそのようなデーターが出ているようです。

(6)ロータリークラブ年次寄付：3年後に使えるお金を今貯めているもの。恒久基金＝各クラブ1千ドル以上が目標＝は元本は使わないで運用益だけ毎年出してくれます。3年前の年次寄付の50%と恒久基金の収益金を足したものが地区の財団資金となる。地区補助金、グローバル補助金、ロータリー奨学生、V T T＝職業的人間を海外に派遣、受入を行うプロジェクト＝、平和フェローに使う資金です。地区補助金については大磯クラブさんも申し込み頂きました。これは毎年800万円~900万円くらい。またプランをお出し下さい。年次寄付目標は一人200ドル21,000円です。財団奨学生は今年は募集しません。財団奨学生としては国連難民高等弁務官＝U N H C R＝の緒方貞子さん、茅ヶ崎から出た宇宙飛行士野口聡一さんがおられます。

恒久基金は2025年までに20億2,500万ドル＝2,126億円＝集めるのを目標にしています。財団0クラブは当地区は0です。ただ全会員が寄付してないクラブは幾つもあります。今年は一人200ドルでなくて結構です。50ドルでも100ドルでも全員が出して頂ければと考えています。出して頂ければ何に使っているか興味を持たれるので…。大磯クラブさんは寄付関係では大変よくやって頂いているクラブです。どのように使われているかを知るのには当2780地区のホームページにあるロータリー財団ハンドブックご覧下さい。

アクセスの仕方＝2780地区H P →アクセスクイック →各委員会の紹介 →ロータリー財団委員会 →財団ハンドブック

このハンドブックの添付書類に過去3年間資金がどのように使われたか、地区補助金はどのクラブが何の目的で使っているのか、グローバル補助金がどのように使われたかなど全部書いてあります。皆さんもどうぞ目を通して下さい。

(7)米山奨学金も寄付目標は一人2万円となっています。米山奨学制度は日本最大の奨学制度です。カウンセラーが付いてアドバイスする事になっています。奨学生数は年間800人1年間の事業費は年14億円。過去累計奨学生数は延べ2万1千人、出身国は129カ国です。中国、

韓国、台湾の学生が多い。来日学生は日本で就職される方、国へ帰られる方がありますが、皆さん日本人に対して友好的です。これからも日本との架け橋になりたいと言っています。能力もあり半年くらいで日本語がしゃべれるようになります。米山奨学制度に付いてもよく知って頂きたい。

(8)ポリオ根絶寄付目標は一人40ドル＝4,200円です。8月にWHOがアフリカ大陸でポリオを撲滅したと発表しました。残るはアフガニスタンとパキスタンです。もう一寸もう一寸と何時まで言ってるのか？アメリカへの反発と内戦で医療関係者が入り込めないからと言われています。日本では1961年に生ワクチンをソ連から輸入して日本におけるポリオ蔓延を防いだ歴史があります。日本では1980年にポリオは撲滅されています。

ポリオの寄付についてはアメリカの「メリンダ&ビルゲイツ財団」とR Iが協定を結び、R Iが5千万ドル拠出すると、ゲイツ財団が2倍の資金を寄付してくれることになっています。予算が157億円となっています。

ワクチンには注射と生ワクチン＝経口ワクチン＝の2種類があります。生ワクチンは吞ませるまで一定の温度を保たねばならない。ワクチンそのものは60~70円くらいだが保温のために金がかかると言っています。



フリートーク：

R I 会長クナーク氏は元パン屋さんで久保田ガバナーは「はとサブレ」とパン屋さんとお菓子屋さんのコンビとなります。但しその質問はしないで下さい(^o^)

吉野ガバナー補佐自己紹介：

- ・所属：平塚湘南 R C
- ・住所：大磯町

父は平塚北RCの会員でした。北クラブが子クラブとして湘南ロータリークラブを創った時、各会員の息子を入れたんです。30年前、私が33~34歳の頃です。ロータリーどころか未だ社会のこともよく理解できていない時で、あまりなじみませんでした。友達にロータリークラブに入った話をすると暴走族かと言われました。拡大補佐が二人来ておられて厳しい指導があり、出席率は80%キープ。80%を切ると事務局を通じて全クラブの例会一覧表を持って来させてメーキャップに行かされたり、本当に嫌でしょうがなかった。会社の業績が悪くなったので辞めちゃいました。7~8年経って戻りました。クラブには出戻りが5人います。

辞めてから毎年賀状がクラブか送られてきました「元気？」みたいな文面で。もう帰る事もないのになと思ひながら眺めていました。自分が仕事だけでなく何かやりたいなと思った時、ここまで忘れないでいてくれるクラブだったら、もしクラブに入れる環境と立場になればまたこのクラブに戻りたいなとずっと思っていました。辞める方には色々理由があると思います。業績が悪くなった、介護の問題、病氣、アクシデント等々。その人に色々理由があるでしょうから、年に1回くらい賀状やはがきを出すのがいいかなと…。うちには5人戻ってきたのがいますから。皆その手で戻ってきたのですから(^0^)

戻ってもあまり熱心ではなかったのですが、10年ほど前に幹事をした時、**県立盲学校の生徒**を海の風に直接当たらせてあげる、**漁船に乗せてあげて、烏帽子岩を回って帰ってきてバーベキュー**をしました。

かなり会員から反対がありました。怪我したら？海に落ちたらどうするの？等。それで神奈中バスを大原から漁港まで貸し切り、庄三郎丸に乗せた。一人の生徒に3人の付き人=父母、親戚、先生、ロータリアン等=をつけました。

目の悪い方には手や足の不自由な方が多く、船に乗せる時に車椅子に乗せて押し上げるのですが、その時の感覚が忘れられません。自分の子供が小さかった時に車を押して公園に行った時、小さな手で握り返してくれたなあ、今では1週間も10日も口をきかないが…、頼りにしてくれていたんだなあ、などと思い起こしていました。

目の弱い方は三半規管が弱いので長く船に乗ると目まいがしてくるので。烏帽子岩を回って30分くらいで、帰ってきまして、バーベキューをしました。魚を料理する前にプールに入れてもらい、生徒に触って貰いました。その後ある生徒さんから点字の手紙を貰いました。直ぐ盲学校に行き先生に読ん

で貰いました。「今日初めて魚がヌルヌルしているのが分かりました。いつもお母さんとスーパーへ行って魚を触ると触っちゃ駄目よと叱られたが、今日は「幾ら触ってもいいのよ」とお母さんがニコニコ(本人は全盲ですが)しながら言ってくれました。今日は有り難う！」これを見て私達は奉仕・々々と言っているが、この子達の事を本当に分かってあげているのか？もっとこの子達の事を勉強しなくては、或いはまた我々が勉強させて貰っているのかなと凄く思いました。それまでのロータリーの奉仕は時間とお金を上げてただけだったんだな、本当は僕らも貰っているんだなとこの時初めて思いました。

以来私は「4つのテスト」のうち「皆のためになるかどうか」をいつも思っています。ロータリーにいて1週間に1時間だけでも「皆のためになるかどうか」という事を考えられる人間になれば仕合わせだなど思うようになり、以来地区に出向して皆のためになれば仕合わせだなど思っています。

大きな事をやって下さいと言う事は全く思っていないです。自分たちの出来る事、考えられる事を少しでも、少人数でもかまいませんので、手を繋ぎながら一緒にやって頂ければロータリーが充実して行ける、自分を豊かにしてくれると思っています。

以上

